

2006年 大会記録

国際

◇ヤリギン国際大会=女子（1月26～27日、ロシア・クラスノヤルスク）

▼48kg級 池田弘美（青山学院大）=7位、▼67kg級 鈴木博恵（京都・立命館宇治高）=3位、

◇キット・カーソン・カップ=男子グレコローマン（1月27～28日、米国・フォートカーソン）

3敗=● [1-6] 米国レッド、● [3-4] 米国ブルー、● [3-4] 米国ホワイト

◇デーブ・シュルツ国際大会（2月3～4日、米国・コロラドスプリングス）

《男子フリースタイル》▼55kg級 足立孝司（山梨学院大）=4位、稲葉泰弘（専大）=2位、▼60kg級 高塚紀行（日大）=5位、湯元健一（日体大）=四失、▼66kg級 佐藤吏（早大）=5位、藤本浩平（拓大）=二失、▼74kg級 桜井浩二（拓大）=二失、▼84kg級 松本真也（日大）=5位、▼96kg級 米山祥嗣（日体大）=三失、▼120kg級 北村克哉（専大）=三失

《男子グレコローマン》▼55kg級 倉本一真（拓大）=4位、長谷川恒平（青山学院大学）=2位、大津卓睦（スターツ）=3位、▼60kg級 松本隆太郎（日体大）=3位、岩崎健太（専大）=五失、▼66kg級 江藤紀友（拓大）=5位、▼74kg級 岡本鉄平（拓大）=三失、▼96kg級 山口竜志（拓大）=二失、▼120kg級 社藤哲也（日体大）=二失

《女子》▼72kg級 村島文子（中京女大ク）=5位

◇クリッパン女子国際大会（3月3～5日、スウェーデン・クリッパン）

《シニア・ジュニア》▼48kg級 坂本友里恵（岩手・宮古商高）=一失、中濱愛（三重・宇治山田高）=9位、▼55kg級 国枝美香（大阪・堺女高）=7位、松永静香（山口・鴻城高）=二失、▼63kg級 平恵美（大阪・堺女高）=一失、工藤佳代子（栃木・壬生高）=9位、▼67kg級 鈴木博恵（大阪・立命館宇治高）=3位、▼72kg級 増尾優華（大分・日本文理大学付高）=一失

《カデット》▼40kg級 鈴木美織（千葉・松戸ジュニア）=優勝、▼43kg級 藤川千晶（埼玉・和光クラブ）=三失、▼46kg級 堀内優（京都・網野町少年教室）=2位、服部

加奈（三重・四日市四郷高）＝二失、▼49kg 級 渡辺菜穂（埼玉・埼玉栄高）＝四失、西のどか（埼玉・埼玉栄高）＝優勝、▼52kg 級 鈴木綾乃（東京・安部学院高）＝4位、鈴木幸子（栃木・壬生高）＝優勝、▼56kg 級 車屋綾香（岩手・宮古商高）＝2位、▼60kg 級 佐藤文香（茨城・水戸市スポーツ少年団）＝二失、津田香耶（東京・安部学院高）＝四失、渡利璃穂（島根・松江クラブ）＝2位、▼65kg 級 宇野杏奈（三重・四日市四郷高）＝三失

◇ポーランド・オープン＝男子グレコローマン（3月11～12日、ポーランド・ヘルム）

▼55kg 級 豊田雅俊（警視庁）＝3位、長谷川恒平（青山学院大）＝7位、▼60kg 級 笹本睦（ALSOK総合警備保障）＝3位、▼66kg 級 飯室雅規（自衛隊）＝7位、▼74kg 級 鶴巻宰（国士大）＝15位、▼84kg 級 松本慎吾（一宮運輸）＝優勝

◇ウズベキスタン・カップ＝男子フリースタイル（3月11～12日、ウズベキスタン・タシュケント）

▼55kg 級 田岡秀規（自衛隊）＝5位、稲葉泰弘（専大）＝3位、▼60kg 級 高塚紀行（日大）＝5位、湯元健一（日体大）＝一失、▼66kg 級 藤本浩平（拓大）＝二失、▼74kg 級 小幡邦彦（ALSOK総合警備保障）＝一失、長島和幸（クリナップ）＝一失

◇ニコラ・ペトロフ国際大会＝男子グレコローマン（3月18～19日、ブルガリア・ソフィア）

▼55kg 級 豊田雅俊（警視庁）＝一失、長谷川恒平（青山学院大）＝一失、▼60kg 級 笹本睦（ALSOK総合警備保障）＝3位、▼66kg 級 飯室雅規（自衛隊）＝一失、▼74kg 級 鶴巻宰（国士大）＝3位、▼84kg 級 松本慎吾（一宮運輸）＝一失

◇ダン・コロフ国際大会＝男子フリースタイル（3月25～26日、ブルガリア・ソフィア）

▼55kg 級 松永共広（ALSOK総合警備保障）＝優勝、稲葉泰弘（専大）＝2位、田岡秀規（自衛隊）＝3位、▼60kg 級 高塚紀行（日大）＝3位、湯元健一（日体大）＝二失、▼66kg 級 藤本浩平（拓大）＝5位、▼74kg 級 小幡邦彦（ALSOK総合警備保障）＝2位、長島和幸（クリナップ）＝三失

◇アジア選手権（4月6～9日、カザフスタン・アルマトイ）

《男子フリースタイル》▼55kg 級 齋藤将士（警視庁）＝3位、▼60kg 級 井上真一（警視庁）＝5位、▼66kg 級 小島豪臣（周南システム産業）＝5位、▼74kg 級 加藤陽輔（日体大助手）＝3位、▼84kg 級 鈴木豊（自衛隊）＝5位、▼96kg 級 小平清貴（警視庁）＝7位、▼120kg 級＝派遣なし

《男子グレコローマン》▼55kg級 平井進悟(総合警備保障) = 7位、▼60kg級 北岡秀王(日体大) = 7位、▼66kg級 藤村義(自衛隊) = 8位、▼74kg級 菅太一(警視庁) = 7位、▼84kg級 小向忍(自衛隊) = 7位、▼96kg級 加藤賢三(自衛隊) = 7位、▼120kg級 = 派遣なし

《女子》▼48kg級 船津友里(東洋大) = 優勝、▼51kg級 甲斐友梨(中京女大) = 2位、▼55kg級 松川知華子(日大) = 優勝、▼59kg級 山本聖子(ジャパンビバレッジ) = 優勝、▼63kg級 正田絢子(ジャパンビバレッジ) = 優勝、▼67kg級 菅原美々(警視庁) = 2位、▼72kg級 浜口京子(ジャパンビバレッジ) = 優勝

◇ワールドカップ = 女子 (5月20~21日、愛知・名古屋市稲永スポーツセンター)

優勝

予選1回戦 日本○ [6-1] ●米国

予選2回戦 B Y E

予選3回戦 日本○ [6-1] ●ウクライナ

決 勝 日本○ [6-1] ●カナダ

《個人順位》▼48kg級 伊調千春(ALSOK 総合警備保障) = 優勝、▼51kg級 坂本日登美(自衛隊) = 2位、甲斐友梨(中京女大) = 7位、▼55kg級 吉田沙保里(ALSOK 総合警備保障) = 優勝、▼59kg級 山本聖子(ジャパンビバレッジ) = 3位、西牧未央(中京女大) = 6位、▼63kg級 伊調馨(中京女大) = 優勝、▼67kg級 新海真美(中京女大) = 4位、井上佳子(愛知・至学館高) = 5位、▼72kg級 浜口京子(ジャパンビバレッジ) = 2位、村島文子(中京女大ク)

◇世界学生選手権 (6月15~20日、モンゴル・ウランバートル)

《男子フリースタイル》▼55kg級 藤元慎平(早大) = 7位、▼60kg級 高塚紀行(日大) = 14位、▼66kg級 佐藤吏(早大) = 3位、▼74kg級 桜井浩二(拓大) = 13位、▼84kg級 山縣養一(日大) = 7位、▼96kg級 米山祥嗣(K-POWERS = 日体大OB) = 9位、▼120kg級 北村克哉(専大) = 8位

《男子グレコローマン》▼55kg級 長谷川恒平(青山学院大) = 3位、▼60kg級 松本隆太郎(日体大) = 5位、▼66kg級 小林威仁(大丸 = 早大OB) = 5位、▼74kg級 後藤秀樹(日本文理大職 = 日体大OB) = 5位、▼84kg級 伊藤拓也(早大) = 5位、▼96kg級 山口竜志(拓大) = 11位、▼120kg級 社藤哲也(兵庫県協会 = 日体大OB) = 3位

《女子》▼48kg級 船津友里（東洋大）＝8位、▼51kg級 栄友菜（中京女大）＝2位、▼55kg級 松川知華子（日大）＝2位、▼59kg級 島田佳代子（日大）＝優勝、▼63kg級 西牧未央（中京女大）＝優勝、▼67kg級 新海真美（中京女大）＝2位、▼72kg級 田中希枝（中京女大）＝8位

◇ゴールデン・グランプリ決勝大会（6月23～25日、アゼルバイジャン・バクー）

《男子フリースタイル》▼55kg級 稲葉泰弘（専大）＝5位

《男子グレコローマン》▼60kg級 笹本睦（ALSOK総合警備保障）＝3位、▼74kg級 鶴巻宰（国士大）＝7位

《女子》▼51kg級 甲斐友梨（中京女大）＝2位、▼55kg級 松川知華子（日大）＝優勝、▼59kg級 正田絢子（ジャパンビバレッジ）＝優勝、▼63kg級 西牧未央（中京女大）＝優勝、▼67kg級 鈴木博恵（立命館大）＝優勝

◇カナダカップ（7月7～8日、カナダ・グエルフ）

《男子フリースタイル》▼55kg級 長尾武沙士（近大）＝優勝、大原淳哉（近大）＝6位、▼66kg級 増田和将（中京学院大）＝4位、松本大輝（徳山大）＝5位、▼74kg級 藤村勇喜（徳山大）＝6位

《女子》▼48kg級 片渕有紀（同志社大）

◇アジア・ジュニア選手権（7月18～20日、アラブ首長国連邦・アブダビ）

《男子フリースタイル》▼50kg級＝派遣なし、▼55kg級 長江翔太（国士大）＝5位、▼60kg級 安沢薫（早大）＝3位、▼66kg級 森川一樹（山梨学院大）＝2位、▼74kg級 大月葵斐（早大）＝5位、▼84kg級 藤本大輔（日体大）＝3位、▼96kg級 浅見哲郎（早大）＝5位、▼120kg級 荒木田進謙（専大）＝優勝

《男子グレコローマン》▼50kg級 大谷耕太（専大）＝5位、▼55kg級 峯村亮（神奈川大）＝優勝、▼60kg級 佐藤亮太（日体大）＝5位、▼66kg級 井上智裕（日体大）＝5位、▼74kg級 菊池心（同志社大）＝8位、▼84kg級 矢野将章（専大）＝7位、▼96kg級 近田真基（立命館大）＝5位、▼120kg級 平川臣一（専大）＝3位

《女子》▼44kg級 加藤朝日（島根・隠岐島前高）＝5位、▼48kg級 河村友海（中京女大）＝2位、▼51kg級 前原愛（関大）＝優勝、▼55kg級 国枝美香（同志社大）＝3位、▼59kg級 山名慧（中京女大）＝優勝、▼63kg級 高橋海里奈（東京・山手学院高）

= 2位、▼67kg級 鈴木博恵（立命館大）=優勝、▼72kg級=派遣なし

◇ベログラゾフ国際大会=男子フリースタイル（8月4～6日、ロシア・カリニングラ

ード）

▼55kg級 田岡秀規（自衛隊）=優勝、松永共広（ALSOK総合警備保障）=3位、▼60kg級 高塚紀行（日大）=優勝、▼66kg級 小島豪臣（周南システム産業）=優勝、米満達弘（拓大）=二失、▼74kg級 小幡邦彦（ALSOK総合警備保障）=3位、長島和幸（クリナップ）=2位、▼84kg級 松本真也（日大）=5位

◇アジア・カデット選手権（8月10～12日、バンコク・タイ）

《男子フリースタイル》▼42kg級 玉城考（愛媛・松山南二中）=9位、▼46kg級 神山直人（群馬・太田商高）=5位、▼50kg級 長野真也（京都・立命館宇治高）=8位、▼54kg級 水越智也（茨城・霞ヶ浦高）=7位、▼58kg級 赤沢岳（埼玉・花咲徳栄高）=9位、▼63kg級 長尾明来士（大阪・近大付高）=9位、▼69kg級 高谷惣亮（京都・網野高）=7位、▼76kg級 早矢仕大輔（岐阜・岐南工高）=7位、▼85kg級 川島悠揮（愛知・一宮工高）=8位、▼100kg級 時信光一（岡山・高松農高）=5位

《男子グレコローマン》▼42kg級 三井雅人（山梨・韮崎工高）=5位、▼46kg級 友沢貴仁（静岡・稲取高）=5位、▼50kg級 船木尋仁（秋田・秋田商）=5位、▼54kg級 加藤郷典（三重・四日市四郷高）=7位、▼58kg級 富塚拓也（群馬・関東学園大付高）=11位、▼63kg級 石田智嗣（京都・立命館宇治高）=3位、▼69kg級 林正敏（奈良・大和広陵高）=7位、▼76kg級 山口剛（岐阜・中津商高）=5位、▼85kg級 岩間奨平（鳥取・鳥取中央育英高）=5位、▼100kg級 福田広樹（福島・田島高）=3位

《女子》▼38kg級 阿部千波（茨城・水戸二中）=優勝、▼40kg級 鈴木美織（千葉・松戸六中）=2位、▼43kg級 浜田千穂（神奈川・川崎橘中）=優勝、▼46kg級 堀内優（京都・網野高）=優勝、▼49kg級 西のどか（埼玉・埼玉栄高）=2位、▼52kg級 清水愛（埼玉・埼玉栄高）=優勝、▼56kg級 津田香耶（東京・安部学院高）=2位、▼60kg級 渡利璃穂（島根・松江一中）=優勝、▼65kg級 渡部沙織（福島・田島高）=優勝、▼70kg級 宇野杏奈（三重・四日市四郷高）=2位

◇ピトラシンスキ国際大会=男子グレコローマン（8月25～26日、ポーランド・ワルシ

ャワ）

▼55kg級 平井進悟（ALSOK総合警備保障）=10位、▼60kg級 豊田雅俊（警視庁）=15位、▼66kg級 飯室雅規（自衛隊）=5位、▼74kg級 鶴巻宰（国士大）=18位、菅太一（警視庁）=一失、▼96kg級 加藤賢三（自衛隊）=16位

◇世界ジュニア選手権（8月28日～9月2日、グアテマラ・グアテマラシティー）

《男子フリースタイル》▼50kg級 長尾武沙士（近大）＝棄権▼55kg級 石山雄平（日体大）＝8位、▼60kg級 大沢茂樹（山梨学院大）＝3位、▼66kg級 米満達弘（拓大）＝12位、▼74kg級 大月葵斐（早大）＝3位、▼84kg級 門間順輝（日体大）＝18位、▼96kg級 浅見哲郎（早大）＝15位、▼120kg級 荒木田進謙（専大）＝9位

《男子グレコローマン》▼50kg級 梶雅晴（兵庫・育英高）＝10位、▼55kg級 倉本一真（拓大）＝5位、▼60kg級 松本隆太郎（日体大）＝7位、▼66kg級 成瀬一彦（日体大）＝9位、▼74kg級 倉谷修平（日体大）＝16位、▼84kg級 斎川哲克（日体大）＝19位、▼96kg級 山本雄資（山梨学院大）＝20位、▼120kg級 安田伊織（早大）＝12位

《女子》▼44kg級 坂本友里恵（岩手・宮古商高）＝9位、▼48kg級 三村冬子（京都・網野高）＝3位、▼51kg級 前原愛（関大）＝優勝、▼55kg級 柴田瑞穂（中京女大）＝13位、▼59kg級 梶田瑞華（中京女大）＝5位、▼63kg級 西牧未央（中京女大）＝優勝、▼67kg級 井上佳子（愛知・至学館高）＝優勝、▼72kg級 田中希枝（中京女大）＝10位

◇世界選手権（9月25日～10月1日、中国・広州）

《男子フリースタイル》▼55kg級 田岡秀規（自衛隊）＝23位、▼60kg級 高塚紀行（日大）＝3位、▼66kg級 小島豪臣（周南システム産業）＝15位、▼74kg級 小幡邦彦（ALSOK総合警備保障）＝21位、▼84kg級 松本真也（日大）＝10位、▼96kg級 小平清貴（警視庁）＝17位、▼120kg級 北村克哉（専大）＝20位

《男子グレコローマン》▼55kg級 豊田雅俊（警視庁）＝19位、▼60kg級 笹本睦（ALSOK総合警備保障）＝23位、▼66kg級 飯室雅規（自衛隊）＝28位、▼74kg級 菅太一（警視庁）＝15位、▼84kg級 松本慎吾（一宮運輸）＝9位、▼96kg級 加藤賢三（自衛隊）＝11位、▼120kg級 鈴木克彰（警視庁）＝19位

《女子》▼48kg級 伊調千春（ALSOK総合警備保障）＝優勝、▼51kg級 坂本日登美（自衛隊）＝優勝、▼55kg級 吉田沙保里（ALSOK総合警備保障）＝優勝、▼59kg級 正田絢子（ジャパンビバレッジ）＝優勝、▼63kg級 伊調馨（中京女大）＝優勝、▼67kg級 坂本襟（ワークスジャパン）＝3位、▼72kg級 浜口京子（ジャパンビバレッジ）＝2位

◇NYACオープン大会（11月18～19日、米国・ニューヨーク）

《男子フリースタイル》▼55kg級 杉谷武志（自衛隊）＝2位、久古敏章（警視庁）＝

四失、▼60kg級 清水聖志人（クリナップ）＝優勝、▼66kg級 池松和彦（K-POWERS）＝四失、▼74kg級 長島和幸（クリナップ）＝五失、▼84kg級 柴田寛（山口県体協）＝四失、相沢純（中大OB）＝二失、▼120kg級 秋葉洋一（自衛隊練馬駐屯地）＝四失

《男子グレコローマン》▼55kg級 大津卓睦（スターツ）＝3位、▼60kg級 下村博（自衛隊）＝優勝、谷岡泰幸（自衛隊）＝2位、▼74kg級 後藤秀樹（日本文理大職）＝4位、▼84kg級 太田充洋（大分県協会）＝三失、▼96kg級 曾我部健（国士舘ク）＝4位

《女子》▼51kg級 坂本真喜子（自衛隊）＝優勝、▼55kg級 坂本日登美（自衛隊）＝優勝、関根ゆう（自衛隊）＝六失

◇アジア大会（12月9～14日、カタール・ドーハ）

《男子フリースタイル》▼55kg級 田岡秀規（自衛隊）＝3位、▼60kg級 高塚紀行（日大）＝9位、▼66kg級 小島豪臣（周南システム産業）＝2位、▼74kg級 小幡邦彦（ALSOK総合警備保障）＝5位、▼84kg級 松本真也（日大）＝5位

《男子グレコローマン》▼55kg級 豊田雅俊（警視庁）＝8位、▼60kg級 笹本睦（ALSOK総合警備保障）＝優勝、▼66kg級 飯室雅規（自衛隊）＝3位、▼74kg級 菅太一（警視庁）＝7位、▼84kg級 松本慎吾（一宮運輸）＝3位

《女子》▼48kg級 伊調千春（ALSOK総合警備保障）＝優勝、▼55kg級 吉田沙保里（ALSOK総合警備保障）＝優勝、▼63kg級 伊調馨（中京女大）＝優勝、▼72kg級 浜口京子（ジャパンビバレッジ）＝2位

国内

◇明治乳業杯全日本選抜選手権予選（3月25日、東京・スポーツ科学センター）

※出場資格のない選手の予選会で、各階級とも上位4選手が出場資格獲得（成績省略）

◇全国高校選抜大会（3月27～29日、新潟・新潟市体育館）

《学校対抗戦》[1] 秋田・秋田商（初）、[2] 京都・網野、[3] 岐阜・岐南工、鳥取・鳥取中央育英

《個人戦優勝者》▼50kg級 梶雅晴（兵庫・育英）、▼55kg級 内村勇太（佐賀・鹿島実）、▼60kg級 岡本佑士（静岡・飛龍）、▼66kg級 高谷惣亮（京都・網野）、▼74kg級 加藤大志朗（兵庫・育英）、▼84kg級 永田裕城（京都・網野）、▼96kg級 高砂祐

也（山形・山形商）、▼120kg級 相沢優人（宮城・仙台育英）

◇ジャパンビバレッジクイーンズカップ（3月28日、東京・駒沢体育館）

《優勝者》▼48kg級 伊調千春（ALSOK 総合警備保障）、▼51kg級 坂本日登美（自衛隊）、▼55kg級 吉田沙保里（ALSOK 総合警備保障）、▼59kg級 正田絢子（ジャパンビバレッジ）、▼63kg級 伊調馨（中京女大）、▼67kg級 坂本襟（ファークスジャパン）、▼72kg級 浜口京子（ジャパンビバレッジ）

◇JOC杯ジュニアオリンピック（4月22～23日、神奈川・横浜文化体育館）

《男子ジュニア・フリースタイル優勝者》▼50kg級 長尾武沙士（近大）、▼55kg級 石山雄平（日体大）、▼60kg級 大沢茂樹（山梨学院大）、▼66kg級 米満達弘（拓大）、▼74kg級 大月葵斐（早大）、▼84kg級 門間順輝（日体大）、▼96kg級 浅見哲郎（早大）、▼120kg級 荒木田進謙（専大）

《男子ジュニア・グレコローマン優勝者》▼50kg級 梶雅晴（兵庫・育英高）、▼55kg級 倉本一真（拓大）、▼60kg級 松本隆太郎（日体大）、▼66kg級 成瀬一彦（日体大）、▼74kg級 倉谷修平（日体大）、▼84kg級 斉川哲克（日体大）、▼96kg級 山本雄資（山梨学院大）、▼120kg級 安田伊織（早大）

《男子カデット・フリースタイル優勝者》▼42kg級 玉城考（愛媛・松山南二中）、▼46kg級 神山直人（群馬・太田商高）、▼50kg級 長野真也（京都・立命館宇治高）、▼54kg級 水越智也（茨城・霞ヶ浦高）、▼58kg級 赤沢岳（埼玉・花咲徳栄高）、▼63kg級 長尾明来士（大阪・近大付高）、▼69kg級 高谷惣亮（京都・網野高）、▼76kg級 早矢仕大輔（岐阜・岐南工高）、▼85kg級 川島悠揮（愛知・一宮工高）、▼100kg級 時信光一（岡山・高松農高）

《男子カデット・グレコローマン優勝者》▼42kg級 三井雅人（山梨・韮崎工高）、▼46kg級 友沢貴仁（静岡・稲取高）、▼50kg級 船木尋仁（秋田・秋田商高）、▼54kg級 加藤郷典（三重・四日市四郷高）、▼58kg級 富塚拓也（群馬・関東学園大付高）、▼63kg級 石田智嗣（京都・立命館宇治高）、▼69kg級 田中正敏（奈良・大和広陵高）、▼76kg級 山口剛（岐阜・中津商高）、▼85kg級 岩間奨平（鳥取・鳥取中央育英高）、▼100kg級 福田広樹（福島・田島高）

《女子ジュニア優勝者》▼44kg級 坂本友里恵（岩手・宮古商高）、▼48kg級 三村冬子（京都・網野高）、▼51kg級 前原愛（関大）、▼55kg級 柴田瑞穂（中京女大）、▼59kg級 梶田瑞華（中京女大）、▼63kg級 西牧未央（中京女大）、▼67kg級 井上佳子（愛

知・至学館高)、▼72kg級 田中希枝(中京女大)

《女子カデット優勝者》▼38kg級 阿部千波(水戸市レスリング)、▼40kg級 鈴木美織(松戸ジュニア)、▼43kg級 浜田千穂(東京・GOLD KIDS)、▼46kg級 堀内優(京都・網野高)、▼49kg級 西のどか(埼玉・埼玉栄高)、▼52kg級 清水愛(埼玉・埼玉栄高)、▼56kg級 津田香耶(東京・安部学院高)、▼60kg級 渡利璃穂(島根・松江ク)、▼65kg級 渡部沙織(福島・田島高)、▼70kg級 宇野杏奈(三重・四日市四郷高)

◇東日本学生リーグ戦(5月11~12・22日、東京・駒沢体育館) = 決勝成績

日体大○[5-2]●日大

(A組順位) [1] 日大、[2] 拓大、[3] 山梨学院大、[4] 明大、[5] 大東大、[6] 中大、[7] 神奈川大、[8] 法大

(B組順位) [1] 日体大、[2] 早大、[3] 専大、[4] 国士大、[5] 青山学院大、[6] 東洋大、[7] 群馬大、[8] 東農大

※日体大は2年ぶり24度目の優勝

◇西日本学生春季リーグ戦(5月13~14日、大阪・大阪府立体育会館第2競技場)

《順位》[1] 徳山大(11季ぶり14度目)、[2] 立命館大、[3] 日本文理大、[4] 中京学院大、[5] 福岡大、[6] 南九州大、[7] 同志社大、[8] 桃山学院大

◇明治乳業杯全日本選抜選手権(6月3~4日、東京・代々木競技場第2体育館)

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 田岡秀規(自衛隊)、▼60kg級 高塚紀行(日大)、▼66kg級 小島豪臣(周南システム産業)、▼74kg級 小幡邦彦(ALSOK総合警備保障)、▼84kg級 松本真也(日大)、▼96kg級 小平清貴(警視庁)、▼120kg級 北村克哉(専大)

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 平井進悟(ALSOK総合警備保障)、▼60kg級 笹本睦(ALSOK総合警備保障)、▼66kg級 飯室雅規(自衛隊)、▼74kg級 菅太一(自衛隊)、▼84kg級 松本慎吾(一宮運輸)、▼96kg級 山口竜志(拓大)、▼120kg級 鈴木克彰(警視庁)

《世界選手権代表決定プレーオフ勝者》▼男子フリースタイル55kg級 田岡秀規(自衛隊)、▼同60kg級 高塚紀行(日大)、▼同66kg級 小島豪臣(周南システム産業)、▼男子グレコローマン55kg級 豊田雅俊(警視庁)、▼同96kg級 加藤賢三(自衛隊)

◇女子世界選手権代表決定プレーオフ(6月4日、東京・代々木競技場第2体育館)

《勝者》▼59kg級 正田絢子（ジャパンビバレッジ）

◇全国中学生選手権（6月10～11日、茨城・茨城スポーツセンター）

《男子優勝者》▼38kg級 有元伸悟（大阪・三国）、▼42kg級 森下史崇（茨城・野々井）、▼47kg級 西牧友朗（三重・一志）、▼53kg級 岩渕尚紀（茨城・大島）、▼59kg級 砂川航祐（大阪・南千里）、▼66kg級 木村政貴（群馬・千代田）、▼73kg級 北村公平（京都・男山東）、▼85kg級 武藤駿（群馬・千代田）、▼110kg級 園田巧（滋賀・日野）

《女子優勝者》▼37kg級 阿部千波（茨城・水戸二）、▼41kg級 鈴木美織（千葉・松戸六）、▼46kg級 浜田千穂（神奈川・川崎橘）、▼52kg級 嶋田実結（青森・戸山）、▼58kg級 渡利璃穂（島根・松江一）、▼64kg級 赤坂美里（青森・八戸二）、▼70kg級 湯田雅美（福島・田島）

◇東日本学生春季新人選手権（6月15～17日、東京・駒沢体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 石山雄平（日体大）、▼60kg級 安沢薫（早大）、▼66kg級 森川一樹（山梨学院大）、▼74kg級 奈良部嘉明（山梨学院大）、▼84kg級 大月葵斐（早大）、▼96kg級 門間順輝（日体大）、▼120kg級 ボリス・ムジコフ（山梨学院大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 尾形翼（日体大）、▼60kg級 佐藤亮太（日体大）、▼66kg級 成瀬一彦（日体大）、▼74kg級 松本篤史（日体大）、▼84kg級 倉谷修平（日体大）、▼96kg級 浅見哲郎（早大）、▼120kg級 ボリス・ムジコフ（山梨学院大）

◇全日本社会人選手権（7月1～2日、静岡・東伊豆町立体育センター）

《団体戦優勝チーム》▼男子実業団 総合警備保障、▼男子クラブ 警視庁、▼女子 ジャパンビバレッジ

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 杉谷武志（自衛隊）、▼60kg級 清水聖志人（クリナップ）、▼66kg級 黒田清志（自衛隊）、▼74kg級 池松和彦（K-POWERS）、▼84kg級 柴田寛（山口県体協）、▼96kg級 花田真秀（和歌山クラブ）、▼120kg級 秋葉洋一（自衛隊）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 大津卓睦（スターツ）、▼60kg級 谷岡泰幸（自衛隊）、▼66kg級 下村博（自衛隊）、▼74kg級 後藤秀樹（日本文理大職）、▼84kg

級 太田充洋（大分県協会）、▼96kg級 曾我部健（国士舘クラブ）、▼120kg級 社藤哲也（日体大OB）

《女子優勝者》▼48kg級＝出場なし、▼51kg級 坂本真喜子（自衛隊）、▼55kg級 坂本日登美（自衛隊）、▼59kg級 関根ゆう（自衛隊）、▼63kg級 石井千恵（ドリームステージエンターテイメント）、▼67kg級＝出場なし、▼72kg級＝出場なし

◇西日本学生新人戦（7月8～9日、大阪・堺市金岡公園体育館）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 金谷孝炫（近大）、▼60kg級 藤永明宏（徳山大）、▼66kg級 木村将志（徳山大）、▼74kg級 長谷川大輝（立命館大）、▼84kg級 亀井謙吾（日本文理大）、▼96kg級 古家圭（立命館大）、▼120kg級 高林努（日本文理大）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 水口弘志（立命館大）、▼60kg級 入江淳史（同志社大）、▼66kg級 西沢秀樹（中京学院大）、▼74kg級 藤永真孝（徳山大）、▼84kg級 亀井謙吾（日本文理大）、▼96kg級 古家圭（立命館大）、▼120kg級 高林努（日本文理大）

◇ドン・キホーテ杯全日本ビーチ選手権（7月30日、茨城・大洗サンビーチ）

《男子シニア優勝者》▼軽量級 沼尻健（国士大）、▼中量級 青山久志（東洋大）、▼重量級 ボリス・ムジコフ（山梨学院大パンクラチオンチーム）

《男子高校生優勝者》▼軽量級 内田好明（茨城・鹿島学園）、▼中量級 富永景太（茨城・土浦日大）、▼重量級 山本大輔（茨城・鹿島学園）

《男子中学生優勝者》▼軽量級 佐藤雄太（茨城・大島中）、▼中量級 岩渕尚紀（茨城・水戸大島中）

《女子シニア優勝者》▼軽量級 北田佳代（ジェイロック）、▼中量級 坂川幸代（古賀塾）、▼重量級 五戸芳（ジェイロック）

《女子高校生優勝者》▼軽量級 石川秀美（茨城・土浦日大）、▼中量級 鈴木綾乃（東京・安部学院）

《女子中学生優勝者》▼軽量級 鈴木美織（千葉・松戸ジュニア）、▼中量級 斉藤ほのか（千葉・松戸ジュニア）

◇インターハイ（8月2～5日、大阪・岸和田市総合体育館）

《学校対抗戦》[1] 秋田・秋田商（33年ぶり2度目）、[2] 京都・網野、[3] 岐阜・岐南工、鳥取・鳥取中央育英

《個人戦優勝者》▼50kg級 梶雅晴（兵庫・育英）、▼55kg級 内村勇太（佐賀・鹿島実）、▼60kg級 岡本佑士（静岡・飛龍）、▼66kg級 中野裕仁（愛媛・今治工）、▼74kg級 山名隆貴（奈良・添上）、▼84kg級 永田裕城（京都・網野）、▼96kg級 高砂祐也（山形・山形商）、▼120kg級 相沢優人（宮城・仙台育英）

◇全国高校女子選手権（8月17日、東京・駒沢体育館）

《優勝者》▼40kg級 荒川早紀恵（埼玉・花咲徳栄）、▼43kg級 明尾弥紀（京都・網野）、▼46kg級 堀内優（京都・網野）、▼50kg級 鈴木綾乃（東京・安部学院）、▼54kg級 鈴木幸子（栃木・壬生）、▼58kg級 清水明子（埼玉・埼玉栄）、▼63kg級 佐藤文香（愛知・至学館）、▼68kg級 井上佳子（愛知・至学館）、▼72kg級 増尾優華（大分・日本文理大付）

◇全国高校生グレコローマン選手権（8月17～19日、東京・駒沢体育館）

《優勝者》▼50kg級 梶雅晴（兵庫・育英）、▼55kg級 牧瀬裕樹（埼玉・埼玉栄）、▼60kg級 岡本佑士（静岡・飛龍）、▼66kg級 井沢涼（静岡・修善寺工）、▼74kg級 江藤公洋（宮崎・福島）、▼84kg級 永田裕城（京都・網野）、▼96kg級 玉田好司高（大分・日本文理大付）、▼120kg級 後藤和法（愛知・名古屋工）

◇全日本学生選手権（8月24～27日、大阪・堺市金岡公園体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 稲葉泰弘（専大）、▼60kg級 湯元健一（日体大）、▼66kg級 佐藤吏（早大）、▼74kg級 工藤豪己（日大）、▼84kg級 磯川孝生（拓大）、▼96kg級 東誠次（立命館大）、▼120kg級 荒木田進謙（専大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 長谷川恒平（青山学院大）、▼60kg級 北岡秀王（日体大）、▼66kg級 藤山慎平（日体大）、▼74kg級 小枝正典（日体大）、▼84kg級 磯川孝生（拓大）、▼96kg級 山口竜志（拓大）、▼120kg級 安田伊織（早大）

《女子優勝者》▼48kg級 船津友里（東洋大）、▼51kg級 甲斐友梨（中京女大）《優勝者》▼55kg級 松川知華子（日大）、▼59kg級 西牧未央（中京女大）、▼63kg級 山名慧（中京女大）、▼67kg級 新海真美（中京女大）、▼72kg級 田中希枝（中京女大）

◇全日本学生王座決定戦（9月15日、東京・駒沢体育館）＝決勝成績

拓大○ [5 - 2] ●早大

※拓大は初優勝

◇西日本学生選手権（9月23～24日、大阪・堺市金岡公園体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼男子55kg級 水口弘志（立命館大）、▼同60kg級 宮原利仁（福岡大）、▼同66kg級 増田和将（中京学院大）、▼同74kg級 藤永真孝（徳山大）、▼同84kg級 亀井謙吾（日本文理大）、▼同96kg級 坂本憲蔵（日本文理大）、▼同120kg級 山口恭平（徳山大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 上田吉輝（徳山大）、▼60kg級 石田孝（徳山大）、▼66kg級 藤永明宏（徳山大）、▼74kg級 伏見貴弘（日本文理大）、▼84kg級 村上彰一（中京学院大）、▼96kg級 坂本憲蔵（日本文理大）、▼120kg級 高林努（日本文理大）

《女子優勝者》▼51kg級 前原愛（関大）

◇国民体育大会（10月1～4日、兵庫・猪名川町文化体育館、猪名川中学校体育館）

《成年フリースタイル優勝者》▼55kg級 湯元進一（和歌山・拓大）、▼60kg級 湯元健一（和歌山・日体大）、▼66kg級 金淵清文（青森・光星学院高教）、▼74kg級 桜井浩二（長野・拓大）、▼84kg級 鈴木豊（埼玉・自衛隊）、▼96kg級 磯川孝生（熊本・拓大）、▼120kg級 吉田清太郎（秋田・秋田市役所）

《成年グレコローマン優勝者》▼55kg級 長谷川恒平（静岡・青山学院大）、▼60kg級 北岡秀王（滋賀・日体大）、▼66kg級 村瀬洸介（長野・拓大）、▼74kg級 飯室雅規（埼玉・自衛隊）、▼84kg級 鶴巻幸（山形・国士舘大）、▼96kg級 斎川哲克（栃木・日体大）、▼120kg級 加藤賢三（埼玉・自衛隊）

《少年フリースタイル優勝者》▼50kg級 岩永竜太（長崎・島原）、▼55kg級 内村勇太（佐賀・鹿島実）、▼60kg級 小田裕之（青森・光星学院）、▼66kg級 山口代悟（兵庫・育英）、▼74kg級 江藤公用（宮崎・福島）、▼84kg級 永田裕城（京都・網野）、▼96kg級 高砂祐也（山形・山形商）、▼120kg級 相沢優人（宮城・仙台育英）

《少年グレコローマン優勝者》▼50kg級 梶雅晴（兵庫・育英）、▼55kg級 牧瀬裕樹（埼玉・埼玉栄）、▼60kg級 岡本佑士（静岡・飛龍）、▼66kg級 中野祐仁（愛媛・今治工）、▼74kg級 加藤大志朗（兵庫・育英）、▼84kg級 佐藤洋輔（山形・米沢工）、▼96kg級 伊藤信明（岐阜・加茂農林）、▼120kg級 後藤和法（愛知・名古屋工）

◇全日本大学グレコローマン選手権（10月12～13日、東京・駒沢体育館）

《優勝者》▼55kg級 長谷川恒平（青山学院大）、▼60kg級 北岡秀王（日体大）、▼66kg級 板倉史也（青山学院大）、▼74kg級 桜井浩二（拓大）、▼84kg級 鶴巻宰（国士舘大）、▼96kg級 山口竜志（拓大）、▼120kg級 ボリス・ムジコフ（山梨学院大）

《大学対抗得点》[1] 拓大（2年連続6度目）、[2] 日体大、[3] 青学大

◇全日本女子オープン選手権（10月29日、静岡・東伊豆町立体育センター）

《優勝者》▼48kg級 SUNISA（タイ）、▼51kg級 赤坂幸子（悠悠ホーム）、▼55kg級 関根ゆう（自衛隊）、▼59kg級 小島愛子（自衛隊）、▼63kg級 中野伸子（自衛隊）、▼72kg級 佐野明日香（自衛隊）

◇全国社会人オープン選手権（11月25～26日、東京・スポーツ会館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 足立竜一（自衛隊）、▼60kg級 井上謙二（自衛隊）、▼66kg級 岩山元彦（専大ク）、▼74kg級 萱森浩輝（新潟・新潟県央工高教）、▼84kg級 高橋龍太（自衛隊）、▼96kg級 相沢純（東洋水産）、▼120kg級 中本将生（広島県協会）、

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 禎卓也（自衛隊）、▼60kg級 岩谷和樹（自衛隊）、▼66kg級 浮田幸博（自衛隊）、▼74kg級 藤村義（自衛隊）、▼84kg級 小川明彦（練馬駐屯地）、▼96kg級 森保弘（四日市体協）、▼120kg級 = 出場なし

《女子優勝者》▼51kg級 服部担子（中京女大ク）、▼55kg級 藤本麻希（大東大）

◇東日本学生秋季新人選手権（12月7～9日、東京・駒沢体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 青木強（国士大）、▼60kg級 紋谷哲平（日大）、▼66kg級 大沢茂樹（山梨学院大）、▼74kg級 米満達弘（拓大）、▼84kg級 奈良部嘉明（山梨学院大）、▼96kg級 木暮僚太（山梨学院大）、▼120kg級 荒木田進謙（専大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 北岡利之（山梨学院大）、▼60kg級 大庵康嗣（国士大）、▼66kg級 森川一樹（山梨学院大）、▼74kg級 新井智明（拓大）、▼84kg級 杉平大輔（国士大）、▼96kg級 工藤真樹（東洋大）、▼120kg級 荒木田進謙（専大）

◇全日本大学選手権（12月21～22日、東京・駒沢体育館）

《優勝者》▼55kg 級 長谷川恒平（青山学院大）、▼60kg 級 高塚紀行（日大）、▼66kg 級 佐藤吏（早大）、▼74kg 級 桜井浩二（拓大）、▼84kg 級 磯川孝生（拓大）、▼96kg 級 松本真也（日大）、▼120kg 級 荒木田進謙（専大）

《大学対抗得点》[1] 拓大（初）、[2] 日大、[3] 専大

◇西日本学生秋季リーグ戦（11月25～26日、大阪・大阪府立体育会館第2競技場）

《順位》[1] 徳山大（2季連続15度目）、[2] 立命館大、[3] 日本文理大、[4] 福岡大、[5] 天理大、[6] 同志社大、[7] 中京学院大、[8] 南九州大

◇全日本選手権（2007年1月26～28日、東京・駒沢体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg 級 松永共広（ALSOK総合警備保障）、▼60kg 級 湯元健一（日体大）、▼66kg 級 小島豪臣（周南システム産業）、▼74kg 級 長島和彦（クリナップ）、▼84kg 級 鈴木豊（自衛隊）、▼96kg 級 小平清貴（警視庁）、▼120kg 級 田中章仁（FEG）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg 級 豊田雅俊（警視庁）、▼60kg 級 笹本睦（ALSOK総合警備保障）、▼66kg 級 飯室雅規（自衛隊）、▼74kg 級 菅太一（警視庁）、▼84kg 級 松本慎吾（一宮運輸）、▼96kg 級 加藤賢三（自衛隊）、▼120kg 級 沢田直樹（山口県協会）

《女子優勝者》▼48kg 級 伊調千春（ALSOK総合警備保障）、▼51kg 級 服部担子（中京女大大学院）、▼55kg 級 吉田沙保里（ALSOK総合警備保障）、▼59kg 級 西牧未央（中京女大）、▼63kg 級 伊調馨（中京女大）、▼67kg 級 井上佳子（愛知・至学館高）、▼72kg 級 浜口京子（ジャパンビバレッジ）